

会 議 録

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

	所管課	企画政策課
会議名 (審議会等名)	令和3年度 第1回 嬉野市総合計画審議会	
開催日時	令和3年12月23日(木) 10:00～12:00	
開催場所	嬉野市中央公民館(塩田公民館) 大集会室	
会議の公開の可否	☑ ・ 不可 ・ 一部不可	傍聴者数 0人
公開不可・一部不可 の場合はその理由		
出席者	委員 (敬称略)	山口健一郎、筒井靖明、永田由美、坂口典子、田島洋文、 戸田順一郎、副島篤子、谷山佳世、井上晃太郎、宮崎杏美
	事務局	総合戦略推進部長、企画政策課長、副課長、主任、主査
	その他	
会議の議題	①委嘱状交付 ②挨拶 ③委員紹介 ④議長、副議長の選出 ⑤諮問 ③総合計画策定に係る説明 (総合計画概要、重要業績評価指標報告、市民アンケート調査報告、スケジュール等)	
配布資料	①令和3年度第1回総合計画審議会次第 ②令和3年度嬉野市総合計画審議会委員名簿 ③第2次嬉野市総合計画 ④第2期嬉野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 ⑤重要業績評価指標の一覧 ⑥市民アンケート調査結果報告書 ⑥市民アンケート調査結果「前回との比較」 ⑦スケジュール表	
審議等の内容	別紙のとおり	

審 議 等 の 内 容

(嬉野市審議会等の公開に関する要綱第9条関係)

		所管課	企画政策課
議 題	1. 会長、副会長の選出 2. 総合計画策定に係る説明		
内 容	1. 会長、副会長の選出（戸田順一郎氏を会長、永田由美氏を副会長に選出） 2. 事務局より説明。委員質問・事務局回答、委員の意見等		
審議経過	事務局	<p>(総合計画についての説明)</p> <p>今回の嬉野市総合計画後期基本計画は、令和3年度が区切りとなっております第2次嬉野市総合計画前期計画の次の計画として、令和4年度から令和8年度までの期間の計画となります。</p> <p>市の最上位計画として位置づけられ、この計画を元に市役所の施策が進められていくこととなります。計画書にしたがってということにはなりますが、財源の問題や突発的な時勢の変化などで実現が難しい施策もありますが、なるべく理想に沿った行政運営が出来るようにと言ったところで、指針となるものでございます。</p> <p>また、人口減少の局面において、財源なども限られてくる中で、市民のみなさんと一緒になって良い街を作っていこうという指針になります。</p> <p>この計画の構成としましては、基本構想がありまして、その下に基本計画、実施計画とつづくような中身となっています。</p> <p>基本構想とは、街の将来像やまちづくりの進むべき方向性を定めたものとなります。その下の基本計画は、基本構想を実現していくために、どういった事をやっていくかということを書き込んだ計画となります。その下の実施計画につきましては、基本計画で定めた内容について、実際にどういったことを行っていくかを書いた計画となっています。実施計画については、毎年度見直しをしております、お配りしている総合計画の冊子外で計画しているものになります。</p> <p>期間としましては、基本構想が2025年度までの8年間について作成しているのに対して、基本計画は前期・後期に分けて4年間ずつについて計画しているものです。今回ちょうど切り替えの時期にあたるので、今回お集まりいただいて審議をお願いするものです。</p> <p>この総合計画は、「歓声が響きあう嬉野市」を大目標としまして、「世代を超えて住み続けるまち」「人輝き活力あふれるまち」「支え合う喜びが広がるまち」「自ら考え、自ら動く自発のまち」にしていくために、様々な施策を展開していくものになります。</p> <p>基本計画には分野横断的な括りと、分野別に分けた施策体系での記載のしかたをしています。分野横断的な括りで言いますと「嬉野創生プロジェクト」「健康長寿プロジェクト」「国際戦略プロジェクト」「ひとにやさしいプロジェクト」の4つがあって各分野の施策に横串をさして施策展開しています。</p> <p>分野別の括りでいきますと、福祉であったりまちづくりであったりというような、分野に沿ってどういうことを推進していくのかということが記されています。</p> <p>今回の総合計画後期計画の改訂にあたっては、4年前に前期計画を策定した後に策定されている総合戦略。総合戦略とは、重点的・戦略</p>	

	<p>的に推進していく計画をまとめたもので、こちらを加味した改訂としていきたいと思います。今回、後期計画を定めるにあたって、総合戦略の内容を含んでいなければならないということで、これまで総合戦略の立場でも総合計画を意識した内容となっていたわけですが、総合計画が4年に一回の改訂ということで中身がアップデートできていない箇所もありますので、今回、総合戦略の中身を踏まえながら、ということになります。</p> <p>総合計画の説明については以上になります。</p>
議長	<p>それでは、総合計画の説明に対して、ご質問や意見はございますでしょうか。</p>
委員	<p>総合計画は4年に一度の改訂ということで、前期計画は3月までということですが、総合戦略はどのような期間で改訂されているのでしょうか。どのような兼ね合いになるのでしょうか。</p>
事務局	<p>総合戦略は令和2年度に新たに改訂しまして、令和2年度から6年度までということで、こちらが国の方針に沿った形で現在作成していて、毎年修正をかけています。</p>
議長	<p>複雑ですが、それぞれは関連付けてあるものの別物という考え方がなります。どうやって関連付けていくのかは、多くの自治体が悩んでいるようです。今回は、総合戦略は別に出来ていて、総合計画にどう関連付けるかも考えていくことになると思います。</p> <p>総合戦略は、随時確認しながら進めていくんですね。</p>
事務局	<p>そうなります。</p> <p>現在考えている方策としては、基本計画、中でも分野別政策の中に、総合戦略の中身を落とし込んでいくようなことを考えています。</p>
議長	<p>他にないでしょうか。</p>
委員	<p>この計画は、この場で決定した場合にどのような影響があるのか。これだけの内容を、この人数と時間で決めていいものかと思うんですが。</p>
事務局	<p>スケジュール的なものにも関わってきますが、今後、事務局で原案を作成し、来年1月に市長選もありますので、新市長の政策的なことでも織り込んで作成しますので、市民の代表ということで中身を議論いただいて、その後、一般の方に見ていただくようパブリックコメントの期間を設けます。その後、修正があれば修正して、議会に諮ってから、計画の策定ということになります。今回、諮問をさせていただいていますので、原案を議論いただいて答申ということになります。</p>
議長	<p>原案が出来てきて、それに一つずつ修正などを検討していくということでしょうか。</p>
事務局	<p>はい。</p> <p>政策の継続性を求められるということもありますので、基本的には前期計画にコロナのことなど追加していくような内容での修正を考えています。</p>

委員	前期の部分をよく分かっていないので、このまま進めていってよいのかという怖さがあります。
議長	もちろん、わからない部分もあるかもしれませんが、それぞれの方の専門分野で考えていただければと思います。もちろん、専門外の分野でもご意見いただいてということになります。
事務局	それぞれの視点で、こういった事を入れたほうが良いのではないかと いったようなことをご意見いただければと思います。 前期計画をマイナーチェンジしていくようなことになります。
委員	ほとんどの方が、意見がなかったらこの場で決まってしまうのかというところが気になります。先ほどの簡単な説明で決まってしまうのでしょうか。
事務局	あくまでも、これから何回か会議をさせていただいて、随時、修正を加えながら、ということになります。
委員	これからということですね。
事務局	今日は、原案もまだありませんので、最初のさわりの部分の説明会ということになります。2月以降に原案をお示しして議論していただくかたちになります。
委員	わかりました。
委員	前期計画が最初に出来たころは、コロナのことなど全然予測できなかったです。With コロナとか。あとは市役所の中で未来技術の会議などがあって参加させていただいていますが、そういったものを盛り込んでいくということになりますか。
事務局	そうですね。そういったことを十分考慮しながら、ということになります。
議長	コロナのことが、前期にはなくて、今回からということで一番難しいところになってくるとは思います。
事務局	そうですね。この計画では、細かい政策の内容まで書くのは難しいと思いますので、コロナも含めたところの政策の概念と言いますか、方向性を書ければと思います。
委員	成果指標なども、コロナの影響が大きくあると思いますが。
事務局	影響があります。このあと、前期計画の成果指標についてもお話ししますが、成果指標のありかたについても考えていけないと思っています。成果指標というのはKPI とも言いますが、各分野においてどの程度の進展が見られたかというのを計る指標となっています。 分かりやすい例を挙げると、空き家を減らして住環境を良くしていく目標に対して、空き家バンクの登録数というのを成果指標としています。空き家の利活用によって、空き家の数が減っていくといったようなことです。 他にも、各分野で細かく成果指標を定めています。ただ、コロナの影

	<p>響で、ほとんどの成果が極端に低下しているような状況にあります。コロナの終息が見えない中で、果たして従来と同じような定量的な個別のKPIを目標とするのが適切なかどうか。そういったところも悩んでいるところです。考え方にもよりますが、市民の市への愛着度や、幸福度とか住み続けたいかどうか、というような市民の気持ちを捉えるような成果指標に変えたほうがよいのではとも思っています。そのあたりも、市の内部でも検討しているような状況です。次回、お集まりいただいたときに、そのあたりもお示しできればと思っています。</p> <p>議長 他にないようであれば、せっかく重要業績成果指標の話になりましたので、引き続きご説明いただければと思います。</p> <p>事務局 先ほども少し説明させていただきましたが、KPIというのは、どの項目がどのくらい進んだかというのをモニタリングする数値になります。お手元にあるのが成果指標の一覧は、集計などでタイムラグがありますので、2020年度の状況です。黄色で塗られた項目が、前年度より改善している項目、水色が前年度より悪化した項目、赤字が2021年度までの目標値を既に達成している項目になります。見ていただくと、改善している項目も多いんですが、悪化している項目が多いのが目に付きます。改善している項目も、例えば市内の交通事故発生件数などは、マナーアップもあるんでしょうが、実際のところはコロナで外出される機会が減って交通事故も減ったということもあると思います。ゴミの量なども、増加傾向だったのが、コロナの影響で経済活動が落ち込んだせいで減少するなど、改善ではありますが、やはりコロナの影響が大きいかなと思っています。昨年度から比べても、水色の項目、業績が悪くなっている項目がかなり多くなっているという実情があります。それまで達成できていた項目なども、がたっと業績が落ちたりしていて、4年前にこの目標を立てたときには予測できなかったことですが、厳しい結果になっているという印象です。</p> <p>事務局 一覧表の上の項目から、それぞれ少し説明させていただくと、まず「子育てファミリーサポートの利用児童数」ですが、いろいろと工夫をしながら進められていて、2020年度には0歳児に無料券を配ったり、民間の福祉施設内に預かり場所を増やして、施設の職員さんが利用しやすくなりしたりされた結果、利用者数が増えています。2番の「子育て支援センターの利用人数」は、明らかにコロナの影響で敬遠されたと思われ、利用人数も減っています。「認知症サポーター数」は、施策に大きな動きはなかったようですが、高齢化が進み、身近な方が認知症になるリスクも増えていることから、増えてきているようです。「介護予防教室の参加人数」ですけれども、これはコロナ禍ではありますが、増えてきています。介護予防教室のメニューを増やしたり、学校で教室を開催しているということですが、そもそもの対象者数が増えてきていることも原因のようです。「福祉施設から一般就労移行者数」は、障がいを持った方が福祉施設内でのお仕事から一般の事業所に移られる数ですが、コロナのせいで数が落ち込んでいます。そもそも一般の事業所での景気の落ち込みや、障がいを持った方にコロナで特段の配慮をしなければならぬと思われたりした結果、数が落ちていると思われるということでした。6番の「福祉ボランティア団体数」ですが、これは嬉野市内にある団</p>
--	--

		<p>体数ですが、高齢化でだんだん減ってきています。人口減少、高齢化にコロナが追い討ちをかけるようなかたちで、活動を止められる団体が増えてきているようです。</p> <p>「胃がん検診と乳がん検診の受診率」ですが、明らかにコロナによる受診控えが起きてきているとのことでした。</p> <p>「国民健康保険税の収納率」については、国税局のOBの方を雇用したりといったことで順調に伸びてきています。</p> <p>「特定健診受診率」についても、コロナによる受診控えが見られるとのことでした。</p> <p>「県内一斉ふるさと美化活動の参加人数」は0になっています。コロナの影響で中止になったことが要因です。</p> <p>12番の「空き家バンクの登録数」については、順調に伸びてきているところですが、コロナ禍で都会に住んでいる家の持ち主の方たちがなかなか管理に戻ってこれないということで登録が上向きに進んでいます。あとは、補助金の拡充や地域団体の方たちと空き家の掘り起こしなどをやっています。</p> <p>「特定空家等除去数」は、壊れそうで危険な空き家の除去数になります。除去数が累計で1件ですけれども、現在、嬉野市内には倒壊の危険性のあるものは無いということで、数字は少ないですけれども結果としては良いことかなと思います。</p> <p>「住宅セーフティネット制度登録数」。これは、生活困窮者の方に、市営住宅などをあてがうような代わりに、一般の賃貸住宅を登録してもらって活用するというようなことです。全国的な知名度の無さと、生活困窮者の方が、どうしてもその他の問題も抱えている方が多いといったことから、なかなか貸していただけないところが無いようです。</p> <p>項目がまだまだありますので、よかったらここで一旦質問などいかがでしょうか。</p>
議長		<p>はい。それでは、ここまで説明してもらったところで、何か、ご意見ご質問あられないでしょうか。</p>
委員		<p>次のKPIですが、今期の計画が終了した後に、また再設定されるのでしょうか。</p>
事務局		<p>そうですね。KPIのあり方を少し考えないといけないところなのですが、ふるさと美化活動の参加人数なんかを見ると、コロナでいきなり0になったりとかですね、今の状況でこれまでと同じような目標を設定しておいていいものかと思います。重要な指標なので取り上げていますので、残しておくという方法もありますが、そもそも総合計画は全体の計画で、この下に個別の計画が実はたくさんあってですね、総合戦略の方にも同じような目標があったりもします。個別の計画でも設定してあるような目標を、改めて総合計画で取り上げて確認していくのがいいのか、それとも総合計画の中では、あくまで市民の満足度とか幸福度とか、他の計画で取り上げていないような全体的な目標にするのか、今、市の内部でも議論を進めているところです。</p>
議長		<p>その方向は、次回とかに出てくるんですか。このレベルで全体的に設定するかどうか。</p>
事務局		<p>はい。次回にはお示ししていきたいと思います。前期計画策定時には、世の中の多くの自治体が多くKPIを設定していたんですが、総合戦略がその後できて注力しないといけない分野のKPIが新たに加わった</p>

	<p>ことによって、新たに総合計画を更新する際にあえて KPI を設定しない自治体も増えてきています。そういったこともあって、あり方自体を考えていかなければならないのかなと思っています。</p>
委員	<p>仮にコロナということもあるので、目標値を低く設定して目指していくとしても、結局コロナ次第ということもあるので、影響を受けやすい項目は外していてもいいのかなと思います。</p>
事務局	<p>そうですね、現在は分野別の項目一つにつき目標を設定しているところですが、分野によってはコロナ禍で、いくら努力しても成果を出せないところがあったり、観光分野なんかは特に、努力しても、コロナの状況次第でころっと変わってしまったりしますので、取捨選択しながら考えていかなければいけないのかなと思っています。</p>
委員	<p>除外したり、例えば追加したりといったことも可能ですか。</p>
事務局	<p>はい、可能です。ですが、分野によっては、KPI を設定する事自体が非常に難しいところもあつたりしますので、そうなってきたら、KPI がある分野と無い分野が出てきたりもしてしまうのかなと。そうなってきたら、KPI を設定した項目だけで測っていくことにはなりますが、同じような項目が個別計画でも設定されていることが多いですので、そのあたりをどうやっていくかなと考えているところです。</p>
委員	<p>DMO の本登録をやるようとしていますけれども、DMO をやっていくにあたって、延べ宿泊数とか観光消費額とかは、もう義務化というか絶対設定してくださいというのがあるので、そういうのも加味して考えていただきたいということ。それと、観光は新幹線で変化が出て来るので、ホテルも二つ出来るような予定になっていて、そういうのも加味するとコロナの影響が出ないような項目を設定していかないといけないのかなと。</p>
議長	<p>その数値目標というのは、どこでうたっておかなければならないんですか。</p>
委員	<p>DMO を進めていくにあたって、観光庁のガイドラインがあつて、そこで KPI を設定しなさいとなっています。</p>
議長	<p>そうするとやはり、総合計画で数値目標をきちんと設定しておくかどうかは、別途考えたほうが良いのかなと。 なかなか難しいなど。そもそも、前回 KPI を設定しないといけないといったところから、少し疑問には感じていました。</p>
委員	<p>総合計画になくても、総合戦略ででてきたりといったことがあるので、絶対総合計画が必要であるといったことではなくて、我々としては、観光戦略を実際作ってしまつて、これは、総合計画とか総合戦略を踏まえて作っていて、観光戦略も今年・来年が改変の時期なので、整理をしていかないといけないのかなと。市の観光商工課のほうで未来づくり塾というのをやっていて、その中、観光戦略についてはお互いに話しながら作っていきましょうということになっています。今後、どういった KPI が設定されるかは分かりませんが、その話しの中で KPI も変化していくのかなと思っています。</p>

	事務局	そのあたりもあると思いますので、総合戦略やその他計画も考えながら、もう少しもませていただければと思います。
	議長	それは、早い段階で結論を出したほうがよいですね。
	事務局	そうですね。次回、お話しできればと思います。
	事務局	<p>では、続けて説明させていただきます。</p> <p>「焼却ごみ量」は、ごみを減らしていきましようという目標なのですが、先ほどもお話しさせていただいたように、コロナで民間経済が縮小しているため焼却量も減ってきています。ただ、単純に焼却量が減ったからと喜んでいいかは、また、別の角度からの見方もあると思いますが、実数的には、計画目標に近づいていっています。</p> <p>「汚水処理普及率」については、数値に変化はないように見えますが、下水道や浄化槽に接続している家は増えているとのことです。ただ、死亡や施設入所などで、下水・浄化槽に接続しているけれども利用を停止される家もあるようで、プラスマイナス0になってしまっているとのことです。</p> <p>「公共交通機関の年間運行本数」については、カレンダーの関係や災害の関係で毎年多少の増減が見られますが、路線・本数ともに維持されているとのことです。</p> <p>「市の防災メール登録者数」は、近年の災害による市民の方の防災意識の高まりや、新規入団の消防団員に加入をお願いしている結果、順調に増加しているようです。</p> <p>「防災訓練実施地区」についても、防災意識の高まりや、コミュニティから声をかけていただいていることにより増えているようです。</p> <p>「市内の交通事故発生件数」はコロナでの外出控えに加え、よかろうもん運転を止めようといったキャンペーン、広報の結果、減ってきています。</p> <p>「六次産業化件数」は、農業で六次産業化した件数ですがけれども、着実に増えて来ています。これは、県を上げて補助策を実施している結果だろうということです。</p> <p>「青年就農者数」は、武雄・鹿島・白石にトレーニングファームがあって、そこを目指して入学する方があり、着実に増えていっています。</p>
	議長	では、ここままで何かご意見あられないでしょうか。
	委員	県内一斉ふるさと美化活動や防災訓練の参加件数など、どちらも市民参加型だと思うのですが、コロナ禍で参加人数は見込めないけれどエリアの中では活動をやってますというように、コロナに対応した目標の定め方も検討されてみてはどうでしょうか。
	事務局	ありがとうございます。検討したいと思います。
	事務局	<p>では、続けて説明させていただきます。</p> <p>「海外輸出商談件数」ですが、主にお茶の輸出の取組みになります。コロナの影響で、そもそも海外に商談に行けなかったり、サンプルを持っていけなかったりということで、件数が落ち込んでいます。</p> <p>「森林整備面積」ですが、累計での計上となっていますので数字は上向いています。このままいけば、目標値に届かないと思われそうですが、豪雨などの影響で、なかなか思うように整備ができていないとのことです。</p>

	<p>「商店街の空き店舗数」ですが、コロナで閉店されたところもありますし、出展を予定されていたお店も延期とか中止とかになってしまっているようです。</p> <p>「誘致企業の雇用者数」ですが、2019年度と2020年度と数値が変わっていませんが、この後に新幹線駅前に企業誘致ビルが出来たり、和多屋別荘さんの中に誘致された企業の求人が始まったりしますので、この後には成果が見えてくると思います。</p> <p>「観光客数・宿泊客数・外国人観光客数・観光消費額」については、明らかにコロナの影響で業績が下がってしまっています。</p> <p>31番32番の「子ども達の平日の校外学習時間」ですが、ガクンと減ってしまっています。理由としては、コロナによる臨時休校が開けたばかりの時にアンケートを取ったらしく、子ども達の、学習の生活リズムが乱れて元に戻っていなかったと思われる、ということでした。逆にゲームの時間などは増えていたようです。</p> <p>33番34番の「子ども達の地域行事への参加率」ですが、これもコロナの影響で、関係するような行事が中止となったため、0となっています。</p> <p>「図書館利用者数」「公民館利用件数」もコロナの影響で減少しています。ただ、公民館利用件数はそこまで減少していなくて、ほぼ横ばいなのですが、これは、利用される団体・件数はほぼ同じで、参加される人数を縮小されてコロナに対応されていたケースが多かったためであるとのことでした。また、塩田公民館が顕著ですが、市役所などのリモート会議需要も増えたとのことでした。</p>
議長	<p>観光・商業・施設利用など、人の動きに関わるようなものは、軒並みコロナの影響が大きく、厳しい状態ですが、何かご意見ご質問等ありませんでしょうか。</p>
委員	<p>誘致企業雇用者数は、市内からの雇用者数だけなのか、市外からの雇用も含めた分なのか。例えば、嬉野に企業を誘致して、市外の方が雇われた場合も入るのでしょうか。</p>
事務局	<p>それも入っています。</p>
委員	<p>もう一つ。JR九州のホテルなどが出来るんですけども、卒業する高校生を雇用したいがどうすればいいか、など相談を受けているところなんですけど、市外・市内関係ないようであれば、JRも市外にも求人をかけると思うんですけど。</p>
事務局	<p>実際のところ、誘致企業さんの採用活動の状況を聞くと、なかなか市内だけでは人が集まらないということを聞いています。ですので、関東からのUターンとかIターンとか、市内にこだわらず、もう一つ手を広げないと、なかなか人材確保も難しいということ聞いております。</p>
議長	<p>JR九州のホテルが出来た場合も、誘致企業雇用者数としてカウントされるんですか。</p>
事務局	<p>これは、誘致企業と進出協定を結んで、補助金を交付するときに、雇用者数についても報告を受けるんですけども。あくまで、進出協定を結んだ企業だけとなります。</p>
議長	<p>進出協定を結んで補助金を出した企業の雇用だけカウントされると。</p>

事務局	<p>そうです。ただ、観光業については現状では、進協定を結んで補助金を、というところの対象とはなっていないと思うので、現状ではホテルの雇用が増えたからといって、この項目の誘致企業ではないのでカウントされないこととなります。</p>
委員	<p>そういうことなんですね。</p>
事務局	<p>市の補助を受けずに進出されているところもあるかもしれませんが、あくまでも市で把握できる雇用ということになります。指標として、市で把握できるものということで、その指標を設けているということになります。</p>
議長	<p>もし、引き続きこの指標が残るのであれば、但し書きがあってもいいのかなと思います。</p>
議長	<p>子ども達の校外学習の話が先ほどありましたけれど、一時のことであまり心配する必要はないということだったんですけれども、その点いかがでしょうか。</p>
議長	<p>引き続きみていかないといけない課題ですね。 続いて説明をお願いします。</p>
事務局	<p>はい。37番の「こども文化祭出場者数」ですが、コロナ禍でしたけれども、なんとか開催できたということで、項目が減少を表す水色になっていますが、すいません。減少はしておりません。平年を維持しています。</p> <p>「文化ホール利用件数」ですが、これは主にリバティの使用件数になります。コロナで利用件数はガクッと減少しています。市外からの予約を受け付けていない期間もありましたので、そういったところも影響していると思います。</p> <p>「スポーツ施設利用件数」ですが、これも屋内施設の利用制限があったり、屋外施設も市内の方限定の期間などもありましたので、だいぶ利用件数も減っているような状況になっています。</p> <p>40番の「DV防止法認知度」と41番の「男女平等意識率」については、今年度アンケートを実施しているため、空欄となっています。</p> <p>「コミュニティ事業住民参加者数」もコロナの影響で減っています。人数制限をしながら開催されたり、場合によっては中止されたような行事も多かったようです。</p> <p>「市事業コミュニティ委託数」は、市の事業で身近なものなどをコミュニティが受託して運営するもので、コミュニティとしては財源の確保などのメリットがあり、市民と一緒にやって事業を進めて行くという意味合いでもあります。昨年度につきましては、大草野地区に防災広場が新設されたことによる管理事業が委託として増えたようです。</p> <p>「市役所内の残業時間」ですが、減らすような働きかけをしていて、昨年度も減ってきているような状況ですけれども、これについては、DX化を進め、RPAやAiOCR、アウトソーシングなどを行って処理時間の削減やサービス向上に努めています。その結果、通常業務については、残業時間が減っているようです。ただ、今まで統計を取っていた数値と別の予算で、災害対応やコロナ対応の残業もあったと聞いていますので、この統計外での総残業時間は恐らく増えているものと思われると思います。いわゆる通常業務で、総務・防災課の人事グループが把握している一般の残業時間を従来から統計の指標としていましたので、継続性の観点から同</p>

		<p>じ数値を計上したところ、残業時間は減ったけれども、突発的に現れた一般会計予算外の残業については増えているといった状況となります。</p>
議長		それは、指標としては問題がありますね。
事務局		そう思います。全体が把握できていないことが問題です。
事務局		<p>次の「市税等収納率」ですが、国税局のOBの方を雇用したりといったことで、改善しています。</p> <p>「経常収支比率」ですが、これは市役所の収入の中から、人件費など恒常的に支出しないといけない、いわゆる固定費の割合となります。2020年度を見るとだいぶ改善しています。これは、恒常的に行っていた事業の中止などの影響があり、固定費の割合が改善したということですが、逆に、臨時的な経費としてコロナ対策であったり景気対策であったり災害対策であったりという経費は増大しているようです。ただ、国からの補助的な収入もありますので、経常収支比率としては、このまま受け取っても差し支えないのかなと思います。</p> <p>最後に「実質公債費比率」ですが、これは市の支出のうち、どのくらい借金返済にあてたかという数値になります。10パーセント未満という目標値に対して段々数値が悪化してきています。これは、市内に建てた施設や広域件でのゴミ処理場、消防署といった施設の更新時期にあたり、そこで行った起債償還が始まってきているために、だんだん数値も上昇してきているという状況になっています。また、災害対策においても、国・県の補助でまかないきれない分の起債も増えているということでした。</p>
議長		それでは、ご意見ご質問あられないでしょうか。
議長		<p>では、今後、KPIのあり方について提案いただくということをお願いいたします。</p> <p>それでは、市民アンケートの結果について説明をお願いします</p>
事務局		<p>市民アンケートは、総合計画の前年に毎回お願いをしています。それで、今回については9月に2,000人を対象にアンケートを送付しているのに加え、市民の方ならどなたでも回答いただけるように、市報にQRコードを載せてWEBでも回答を受け付けるようにいたしました。</p> <p>回答数につきましては、前々回が789、前回は780、今回は784とほぼ変わらない数で推移しています。そのうち、今回、WEBから回答いただいた方が約50名おられました。市報を見られて答えていただいた方もおれると思いますので、WEBを併用していなければ、回答数はもっと減っていたと思われそうです。</p> <p>アンケートの回答の中身については、お手元の結果報告書に載っているところではありますが、市として一番大事にしていかなければならない箇所が、「嬉野市への愛着度」であると個人的にも思っています。他にも「定住意識」とか「住みたくない理由」とか「目指すまちの特色」あたりが重要だと思っています。</p> <p>回答者の居住年数に注目すると、回を経るごとに居住年数が浅い方が増えてきています。アパートなんかもたくさん出来ましたので、居住形態なんかも変わってきているのかなと思います。</p> <p>回答者の年齢に注目すると、若い方の回答が少しずつ増えて来ています。</p> <p>中身にいくと、「嬉野市への愛着度」で「愛着がある」・「やや愛着が</p>

	<p>ある」と回答した方が、だんだん減ってきています。まあ、他の市町村と比べると、そこまで悪い数値ではないんですが。まあ、良い市町村と比べると、開きがあるのも確かなので、これは重要だなと考えています。</p> <p>「嬉野市の魅力」については、毎回ですが「自然環境が豊か」という結果になっています。今回、三番目に「新幹線が開通」ということが魅力だというふうに回答があっており、期待の高さが現れています。</p> <p>次に「嬉野市への定住意識」ですが、これもだんだん減ってきています。細かい中身を見ていたんですが、年代別で嬉野市に住み続けたい人の割合を見てみると、30代で低い傾向にあります。何でそういうふうになったかを考えてみると。子育て世代ということもあって、忙しくてなかなか先の事に希望を持ってない方もいらっしゃるのかなと思います。また、居住年数が短い人ほど、愛着度も低くて、住み続けたいという方も減る傾向にあります。そういったところも影響しているのかなと思います。</p> <p>また、「住みたくない理由」も重要で、例年と同じく「買い物の便が悪い」とか「働く場が不十分」とか「道路・交通の便が悪い」というのがワースト3に入っています。細かい数字を見ると、若い人ほど「買い物の便が悪い」と思っている割合が低くなる傾向が見られます。やはり、年齢が上がるほど感じるということは、公共交通のあり方なんかを考えていかなければならないと思います。逆に若い人は、インターネットで買い物したり、自由に運転してどこまでも行かれる方が多いので、買い物の便が悪いとか交通の便が悪いという人は少なくなる傾向にあるようです。道路・交通の便が悪いと思っている方は、在住の地区によって傾向が違ってまして、例えば吉田地区なんかは、一番奥まったところにあるので、交通の便が悪いと思う人が多いのかなと思っていましたが、アンケート結果をみると満足した方が多かったり、逆に五町田の方なんかは、鹿島駅が近かったりして交通の便もそこまで悪くないんじゃないかと思っていましたが、不満に思っている方が多かったりと言う結果になっています。相対的な満足度というか、これまで交通の便が良くなっていったのか、悪くなっていったのかというような、これまでの経緯が影響しているんじゃないかと思います。今後、新幹線の開業でどのような変化があるのかは注視していきたいところです。</p> <p>あとは「目指すまちの特色」として、8月の豪雨の影響もあり「安全・安心」を重視する方が顕著に多い結果となりました。</p> <p>他にも、项目的に幸福度とか重要なものがたくさんありますけれども、地区別の傾向を見てみると、地区内に誇れるものが少ないと思われるところほど、幸福度とか愛着度とかが低い傾向が見られました。市内全域の均衡ある発展という点も重視していく必要があると思います。</p> <p>報告としては、簡単でありますけどもこのような結果となります。</p> <p>議長 ただいまの市民アンケートの結果について、ご意見ご質問などありましたらお願いいたします。</p> <p>委員 若い方の母数が少ないので、例えばLINEとかから回答できるようなシステムがあればと思います。</p> <p>事務局 ランダムに2,000人を抽出してアンケートを送付していますので、どうしても若い方の数が少ない傾向になってしまいます。WEB回答が出来るようにしていたので、増えるかなとも思っていたんですが、広報等が不十分であったように感じます。次回、アンケートを行う際はLINEでのお知らせなど検討していきたいと思います。</p>
--	--

委員	<p>7月に校区のコミュニティ内の全世帯にアンケートをとってみました。現実を見るとかなり厳しくて、区に入っていない、班に入っていない方から、全く自分の声が届かないということを書かれた人がいました。マンションやアパートからの返信に、特にそういった声が多くありました。今回こうやって作っていくものが、そういった方たちに届くのか。ぜひ届けたいんですけど、区や班に入っていない方にはどうやってお知らせするのでしょうか。</p>
事務局	<p>今回の計画でも、大々的に市民のみなさんに計画書を全員配るとするのは難しいので、市のHPに掲載し皆さんに見ていただけるようにいたします。</p>
委員	<p>今回、「愛着」に注目しているので、是非とも「自分が入っていない」と思う方が少なくなるようにして欲しいなと思うところですが、情報を能動的に取りに来ていただけない方に届けるのは難しいなと感じています。</p>
事務局	<p>災害の時なども同じなのですが、どうしてもプッシュ型でこちらから情報を発信していくには限界があって、受け取ろうとしてくれない限り、拒否されているような方に無理やり情報を押し付けても受け取ってはもらえないので、そのあたりは工夫が必要になってくると思います。そこは、大きな課題だと思います。</p>
議長	<p>区や班に入っていない方は、どうやって情報を得るんですか。回覧板なんかはあるんですか。</p>
委員	<p>回覧板は回らないです。回らないことにも不満を持っておられるようです。</p>
議長	<p>集合住宅なんかにおられる方にはなかなか回らないということですか。</p>
委員	<p>回らないです。自分の意思で班に入らない方もいらっしゃいます。マンションあたりは、コミュニティがあることも知らない方もいらっしゃいます。</p>
委員	<p>嬉野は、20代30代40代など家族の転勤で転入されてくる方も多いのかなという印象があって、私は元々、班がある区域に住んでいて、周りの年配の方なんか色々教えてくださったりするので、自然に班に入るような方が多くて、そこでは回覧板が回ったり、無線をつけて防災とかお知らせが入ったりとかできるんですけど、転入してこられて、そもそもその辺の情報をどこから取ってきたらいいのかわからないとか、お母さんたちからよく声を聞きます。市報とかに興味のある方は、支援センターとか親子で行けるところにあたりとか、スーパーとかで関心のある方は市報を手にとったりとかあるみたいなんですけど、無線などもつけてみたいけれども、工事が必要になる可能性があったりするので躊躇するとか、情報を得るのに戸惑っている方が見受けられます。住みたくない理由などで、「近所づきあいが煩わしい」が結構上位に入っているのも、若い世代などの人が、少し人と距離があったほうが良いと思うようなことが反映されているのかなと思います。嬉野市の魅力というところに関しても、「人情味」とか「地域の連帯感」とかが、</p>

		<p>30代以外の世代には入っているんですけども、30代のところには入っていないので、そういう世代の方へのアプローチと言うか、本当はもうちょっと情報を得たいという方もいらっしゃるのかなという印象です。私は今子育て中なんですけど、学校や教育機関を通じたお知らせとかだと絶対に目に入ってくると思います。幼稚園や保育園に通わせている保護者は、お仕事されている方が多いと思うので、コミュニティや子育て支援施設に出向くことが難しく、子育て機関を通してだと情報を目にしやすいんじゃないかと思います。</p> <p>議長 嬉野だけの問題ではなくて、都市部だともっとこの問題は深刻だと思うんですけども、市としてこのことについて課題認識とか取組み。ホームページに掲載していますから見に来て下さいというだけではなくて、何か取組みとか何か考えておられることがあれば。</p> <p>事務局 まだ個人的な案なんですけど、思っているのは、例えば回覧板とかって班に入っていないと回ってこないとか、家によっては回覧板を早く回すためにあまり見ずに回すとかあって、班に入っているのに家族は回覧板を見れないとかあるので、班回覧とかの担当課の総務課とかで、回覧板の内容をPDF化するとかして電子回覧板にしてみればいいんじゃないかと思います。あとは、市民課で転入されてこられた際に、ゴミの分別表だけじゃなくて、市役所ではこういう事をどこがやっていてとか、情報はどこで発信していて等の、簡単な嬉野市役所の取扱説明書みたいなものを作れたらいいんじゃないかと思いますので、今回の後期計画の項目の一つとして載せていければと思います。</p> <p>議長 回覧板システムは、もう限界があって、家に誰かが居るから一日に何軒も回せるのであって、一人しか居ないと一日一軒しか回らないので、回って来た時には、既にメ切りが終わっていたりとかあると思います。回覧板あってもいいと思いますが、同じ情報を班に入っていない人だとか、回覧板見れない人に提供するというのは検討したほうがいいんじゃないかなと思います。</p> <p>委員 転入されて来られた方が一番行くのが市民課なので、そこで情報提供というか、どこに聞いていいかもわからなので、そこは必ずお願いします。</p> <p>委員 全然関係ないんですけど、公式LINE出されてるじゃないですか、転入されたときに公式LINEを案内するとかも必要だと思います。せっかく作って、定期的に情報を流しているの、回覧板の内容なんかも流せばいいんじゃないかと思います。</p> <p>事務局 そう思います。ただ、防災無線も同じ問題があるんですけど、何気なくLINEや防災無線をつけられたかたが、市役所からの情報更新頻度が多いと煩いということになって、逆にやめられるケースがあるので注意しながらということになるかと思います。なので、必要な人が必要な時に、必要な情報にアクセスできるように情報を提供するのが一番望ましいのではないかと。今の所、メディアミックスでやっていく方法が一番いいんじゃないかと思います。ただ、LINEなど情報の入り口からリンクして色々な情報にアクセスできるようにしておく必要はあると感じています。今度の計画の中にも、情報の伝達は重要な事なので、担当課とも話して盛り込むようにしたいと思います。</p>
--	--	---

議長	何でもかんでも流れてくると、確かにうっとおしくなって非表示にしたりしますもんね。ぜひ検討してください。
議長	アンケートは非常に重要な情報だと思うんですね。ただ、このアンケートを、どう総合計画に反映したのかというのが見えるようにしてほしいんです。例えば、市民の方から手紙を受け取って、返事を返すというの、もちろん今も回答されていると思うんですが。総合計画は、すごい広い範囲の計画ですから、アンケートをどう反映したのかというのが一部でもいいから見えたほうがいいと。このアンケートも、このまとめの資料も、例えば住みにくい原因の「買い物の便が悪い」ということを、どうやって解決するために計画に反映したかという繋がりを示すことが、このアンケートに対する返答になると思います。そのあたり工夫をお願いします。
事務局	個人的に思っていたのが、アンケート内容もそうですが、自由意見のところに、すごく皆さん気持ちを入れて書いていただいているので、これに行政がもっと真剣に回答しないといけないと思っています。中には行政側から見たら実現が難しい事が簡単に分かってしまうようなことも書いていただいているんですが、このあたりもしっかり回答を作っていくことも必要だと思います。ただ、結構膨大な量なので、全部が全部回答出来るかと言うと難しいところもあるとは思います。ただ検討はしていきたいと思っています。
議長	ぜひ、お返事が出来るといいですね。回答が来ると、次のアンケートも自由記述書こうかなという気持ちになりますね。
委員	これだけ自由記述が多いと、みなさんアンケートの中身よりもどちらかと言えば、こちらの方が関心が高いのかなと思います。アンケートの中身も、これだけ自由意見がでていきますので、内容が決まっているのかもしれませんが、なるべく市民の意見を反映した形でやってもらえたらと思います。
委員	無作為に2,000人にアンケート出したというのは、年齢・年代とかの、例えば20代、30代とか世代ごとの数は一緒なんですか。
事務局	いえ。完全に無作為抽出です。18歳以上で。
議長	年代別に分けてないんですか。比例してないんですか。
事務局	分けてないです。完全に無作為です。
委員	だから、10代とか20代とか回答数が少ないということですか。
事務局	そうなりますね。
委員	総合計画を作るときに将来の事を考えてというのが重要なことなので、やっぱり10代20代を増やして回答を受けたほうが、より現実的ではないかなと思います。 あと、60代70代、70代以上になると、パソコン使えない、携帯使えないという人が多いので紙ベースでやらないと回答がこないとか。観光協会でクーポンを発行するときに、楽天とかそういうところで支援事業があるんですけど、そういうのに、自分は端末を持っていないから参加

	<p>委員</p> <p>事務局</p> <p>議長</p>	<p>できないというのがあって、はがきも受け付けるとかいうのもあったので、アンケートの取り方も工夫したほうがよいのかなと思いました。</p> <p>自分の住んでいる自治体を選んで、その自治体の市報をダウンロードできるアプリがあるんですけども、そこに嬉野市もあげられてて、過去の情報も見れるので、私が転入する前も見てたんですが、アプリで見れるのでマンションとか自治会に入っていない人もぜひ使ってもらえたらと思います。そういうアプリの広報もやったほうが良いと思います。</p> <p>あとアンケートはWEB限定になりますけども、回答しやすいアンケートデザインというのがあって、よくあるのがものすごく少ない問題数で重要なところだけの回答で、おおまかな意見が出てくるみたいな。あるいは、簡単な問題から回答をお願いすると答えやすいみたいなデザインがあって、WEBだけにはなりますが、そういうのを取り入れられると簡単に回答しやすくなるかなと思います。</p> <p>どうしても行政でアンケートを取ろうとすると、過去からの継続性というのを考えるところでもありますし、まあ過去と比較しないといけないというのが一つあるのと、過去のやり方だと効率化されているので、予算上も新しい事をやろうとするとやはりお金がかかってくることもありますので、財源が厳しい中でどこまで試して行くかというのがありますが、ご意見を参考にさせていただいてなるべく良いものが残せるように努力したいと思います。</p> <p>アンケートはこれだけではなく、市として他にもアンケートがあるので、取り方も工夫して勉強してやられたらどうかなと思います。</p> <p>以下、スケジュール案の説明。</p>
<p>その他</p>	<p>なし</p>	